

9月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和元年9月2日(月)

午後10時00分～

地域交流センター 第3研修室

出席委員 教育長 飯森 力 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水
委員 坂野かほり 委員 小山正文

出席職員 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 白井孝夫
次長 白井太津男 主事 佐藤克哉

一 開会(白井教育次長)

定刻となりました只今より9月の麻績村教育委員会定例会を開会いたします。それでは、教育長挨拶をお願いします。

二 教育長挨拶(飯森教育長)

あらためまして、こんにちは。8月には定例会がございましたので、2か月ぶりの定例会となります。その間におきましては教科書採択の臨時会、また成人式等にご出席を頂いて誠にありがとうございました。本日のところは大きな議題はありませんが皆さんからご意見を頂きたくよろしくお願ひいたします。

三 報告(進行 白井教育次長)

白井次長:それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

1. 教育長報告

教育長:それでは、2か月分となりますが、お願ひいたします(以下、資料に沿って説明)

白井次長:それでは、教育長報告につきましてご意見等ございましたらお願ひいたします。

白井次長:よろしいでしょうか。それでは、保育園長報告をお願いします。

2. 学校長・保育園長報告

1) 保育園長報告(白井園長先生)

白井園長:よろしくお願ひいたします。(以下資料に沿って説明)

白井次長:只今の保育園長報告につきまして、ご意見等ございましたらお願ひいたします。

坂野委員:先日のカレー会は私食べる直前まで見させていただいたんですが途中退室ですいません

んでした。その9時からのカレーを作っている様子を見ていますと年中さんは皮をむいて年長さんが包丁でやっていたが、それぞれのクラスの子どもの多いにも関わらず先生が2人体制ですごく忙しそうなんですけれど子どもの怪我をしないようにというところの配慮が徹底できていて素晴らしいなと思いました。後ろにいる子どもたちの気配も感じながら、皮むきに困っている子がいるとすぐ手伝ってあげたりだとかしてまして先生はとても大変だなと思って見ていました。園内の飾りつけが毎回工夫をこらしてあってどんどんバージョンアップしているように感じます。年長さんの昆虫を作ったものがステージにあったんですけど、すごい大きなカブトムシだったかと思いますがあの大作を保育園の年長さんで作れるってすごいなと思いますし、その指導というか上手にそこへ繋げてきた先生も、なんというかここにも書いてありますが先生がまず作ったものを置いておいてそれに気づいた子どもたちが僕も作りたい、という結びつきがあったと書いてあって初めて知りましたが、こういう意欲を湧かせてくれる展示がいいなと思いました。水遊びが結構寒いにも関わらずやっていてプール好きな子が多いいんだなと思いましたし、プールに時期になると家でもお風呂で練習するんですが、保育園の先生が上手に誘導してくれて水に潜らせる楽しさを教えてくれたり、スライダーが保育園にもあるのでそこから滑り台をやりながら水に入っていくという水の慣れさせ方が小学校にもプール好きな子が行くように頑張ってくれているなと思います。

臼井次長: その他にございますか。

市川職務代理: カレー会折角呼んでいただいたのに都合がつかず申し訳ありませんでした。地域の人10人くらいいたかと思いますがその中で保育園の話題が出まして、擦り傷か何か出来たんですが保育園の先生がとっても丁寧に対応して処置をして保護者に対しても申し訳なさそうに話をしたということで、親は非常にびっくりして子どもが怪我をするのは当たり前でそれなのにこんなに丁寧にさせていただいて本当に感激したという話を聞いて、本当に保育園よくやってくれるよなということで、しかし最近の保護者の中にはちょっと擦り傷が出来たくらいですすぐ言ってくるような保護者がいるようでそっちの方が問題だという話がそこで盛り上がりました。お互いに親のあり方というものについても地域としても啓蒙していく必要がありはしないですかということで私の方からもお願いしておきましたが、その際に今のお話とちょっと関連しますが保育園の子ども達の人数が増えてとっても喜ばしいことだということと同時に保育園の先生方が人数が増えて大変だという話もかなり出されました。学校は学級定員があるんですが、保育園も定員はあるんですか。

臼井園長: 一応目安はあります。

市川職務代理: 目安ですか。法的にどうこうということは無いんでしょうか。

臼井園長: 国庫補助の対象となる人数から引っ張ってきています。

市川職務代理: それを超えて今、オーバーして困っているということはないですか。

臼井園長: そうですね。人数に対しての保育士につきましては不足しているというところですか。

市川職務代理: そうですよ。それにしても人数が増えたよねということで何か皆でお手伝いできるようなことがあればいいねというような話も出ていますので、読み聞かせじゃないですがそんな感じで何かお手伝いできるようなら呼びかけていただいたり、そういう読み聞かせに保護者が出始めてくれているということはありがたいことですから同時に、資格もないのに

手を出すと法的に問題になるといけませんから許される範囲でみんなでボランティアでもお手伝いできれば良いねという話も出てきていますので、こんなようなことが皆に広がっていけばいいなと思いました。

臼井次長:その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、学校長報告をお願いします。

2)学校長報告(福田校長先生)

福田校長:お願いいたします(資料に沿って説明)。

臼井次長:学校長報告につきまして、何かご意見等ございましたらをお願いします。

塚原委員:プールのことについてですが、一点目が保護者の立つ場所にあるパラソルが温度差が強すぎて言うことを聞かなくなっているのもテントを結び付けて四隅全部じゃなくて保護者にはテントの中で居てもらえる方がパラソルよりいいのかなと思いました。国の方針で子どもたちに泳ぐ力をつけるんじゃなくて、水に慣れ親しむ教育になって来ているので、僕は生活の生きていく力としてプールサイドから水の中に足から飛び込むという体験は時々やらせていかなきゃいけないことじゃないかと思います。最近水害や洪水がいっぱいあるんだけど、子どもたちが水には入れない子どもを育ててしまったら後が問題になると思いますので、手から飛び込めなくても足から飛び込むぐらいは教えていく、特に着衣で泳いだり水に慣れさせる。時代の流れでそういう風が変わっていかなくてはいけないのかなと思いました。あと保護者の皆さんも何かあったら飛び込むぐらいの気持ちで来てもらわないと、子どもだけ見てればいいわの感覚では何かあった時に困るかなと思います。プールサイドに水を撒くぐらいのことは保護者にどんどんやらせていいと思います。バケツを持って行ってどんどん水をかけて冷やしてくださいとか、保護者も一緒に子どもと水を楽しんだり協力しているという感じでないと、おしゃべりして終わってしまうのもったいないと思います。これからこの暑さももっともっと続くかなと思います。将来的にもっと極端に言えばプールの上に日よけを掛けなくてはいけない時代が来るのかなと思いました。

臼井次長:その他にいかがでしょうか。

市川職務代理:今のプールの話に関連して私もプールは大事に考えていただいて、先ほど保育園であれだけ水遊び大好きで一所懸命やってきた子が小学校にいったらあまりプールに入れなくなってしまうと困りますので、少くも気温が高くてという気持ちはどうしてもありますが工夫してやって頂きたいと思います。また何故そこを強調したかという逆に関連して運動会との絡みで、運動会の特別日程を今から始めているという中で、教科の時間へのしわ寄せというものは無いんでしょうか。運動会は人が見に来るからどうしても先生方も気を遣ってしまうんだけど、運動会本来の趣旨を考えていただいて見た目はどうこうキチッとしないといけないところはもちろんありますけれども、運動会本来のことを考えればあまり運動会日程を長くにとって教科の時間が潰れてしまうということにならないように精選していただいて、プールの方はあまり精選していただきたくないなというところが一つであります。二点目ですが先ほどの一研究ですが、校長先生のお考え通り私も大いに賛成です。新しい学習指導要領の学力観にぴったりのことだと思いますので、古いよき伝統であると同時に

に新しい方向を目指して継続していただきたいなと思います。三点目は細かいですが運動会の通知ですが後ほど改めてという話がありましたが、もしそういう計画があるようでしたらご遠慮いたしまして今頂いているもので十分ですから、少なくとも5人分の通知を出さなくてもいいようにここで確認して頂ければ、今渡したので改めて出さないよということと言っていただければいいのではないかと、そうやって精選できるところは精選して頂ければと思います。

福田校長: 三点ありがとうございました。運動会の特別時間割3週間というのは私も長いかなと思っているんですが、形の上で2週間でやりましょうと出して出すのは簡単なこと何ですが結局2週間でやっても先生方はそれよりも前倒して準備をしていった上で2週間の特別時間割という風にご了解があればと思います。市川先生ご指摘いただいた見栄えとか体裁整えるところに時間を掛けないようにというところについては先生方ともう一回確認をしながらで、3週間の時間割を組んでいます先生方フルにやっているかということではなくて、子どもの様子を見たり余裕をもって運動会を迎えるためにということで出来るだけ早めに準備をして、最盛期の所を軽くするということ考えてやってくださっている3週間かなと思いますが、今ご指摘いただいたことを今後もまた気を付けていきたいと思います。一研究についてありがとうございました。私が今日この会があるのでフライングで教頭先生が送るものをコピーして持ってきてしまったんですが、ご心配頂いてありがとうございます。一連の流れの中でやっておりますのでお気持ちは非常にありがたいですが、改めてになってしまったら申し訳ありません。教頭先生にはそういう風にご配慮いただいていますということをお伝えしたいと思います。

教 育 長: プールについては教育委員会、村としても大きな課題になってきてしまったということを感じています。実際にプールの温度を測っていただいても30度を超えてきているということ結局ぬるめのお風呂に入っていることと一緒にありますので、10分や15分子どもたちが遊ぶだけでもそんな時間はすぐ過ぎてしまう。そうすると熱中症など大変なことになっていますということで学校の方も心配してやって頂いてくれているところですが、本来は水をどんどんうめていけば違うだろうけれど一応麻績村水が多くあるということではないですから、なかなか難しいことかなと思います。子どもたちのことを考えるとやってあげるべきことかなと思いますが、言い換えると実際に暑くなるのが10日程度の部分で屋根付ける工事をするのか、プールサイド非常に熱いけれどどうするかという部分の議論的には必要性の課題が出てくると思います。他の地域の小学校どういう風にしてたのか気になりますけれども生坂村や山形村みたいにB&Gあれば全然問題ないんですけれども、これは課題ということで将来に向けて大きな課題だと思います。すこし心配ですけれどもそんな事情があるということで、特に大人はある程度温度管理出来ても子どもは遊びに本気になってしまうと15分や20分すぐ過ぎてしまうので危ないと思います。先ほど言った保護者が自分たちの話に一所懸命になっていると見過ごしてしまうという部分がありますので課題として捉えさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。

小山委員:

福田校長:

小山委員: 夏休みの自由研究は私も私の子どももそうでしたが多少プレッシャーというのは当然あると思いますが、それを乗り越えていくのが人生というか成長の中かなと思います。出来の良し悪しというのは当然あると思いますが、一応自分として何かやって完成させるということは大切だなと思いますので市川先生の話にありましたけれども続けていただければと思います。

臼井次長: その他にいかがでしょうか。

坂野委員: 先ほど明水先生がおっしゃられたパラソルですが2年前に購入したばかりのものです。

塚原委員: でももう用を成さないんです。強い風が吹くと倒れてしまいますし、周りがものすごく暑いからあまり意味をなさない、帽子を同じくらいだけど実際はあまり意味が無いなという感じですか。

坂野委員: それは保護者の間でも話題だったんですけども、プールサイドが結構熱いんですが保護者の人たちはすぐ子どもを助けられるように手に何も持ちやいけないという風に言われていて、本当は日傘ぐらいさして何かあったら傘で助けることも出来るのにと話もしていたんですけども何故かいつもそれが許可下りなくて、もしパラソルだめならせめてお母さん達も結構立っているのも大変なので日傘大丈夫ですか許可が出れば大丈夫だと思います。水を撒くのも保護者の方早く来てどんどんやってもらえれば先生の負担も減ると思うので、声をかけて貰えれば絶対やると思うのでよろしくをお願いします。

塚原委員: 日傘というかテントの方がいいと思います。テントの方でも距離がそんなに遠くないから見えると思います。

坂野委員:

[REDACTED]

教 育 長: 夏休み中の臨時バスは非常に厳しいと思います。子どもだけでなく一般の人もいますので乗るか乗らないかという実績は関係なく、時間設定するとなれば別の便を出さなければ定期時間を狂わせるということは長期にわたっては難しいと思います。単発である場合はいいんですが、今も通常のバスで来て早い人は学習やったりいろいろやったりしていただいていると思いますが、帰りのこととかもありますのでしっかり計画を立てる中で調整していかないといけないかなと思いますので早めの研究をお願いしたいかなと思います。特に近くの人はいいいけれど遠くの人バスの関係が厳しいと思います。

るかと思ひます。回収のやり方も含めて考えていただけるといいと感じました。

教育長:空き缶を集めて回収場所に置いてもらうということをより周知すればいくらか変わると思ひますが、PTAの活動も大変だと思ひますので、また検討していただければと思ひます。

小山委員:アルミ缶の回収自体は増えているのですか。

福田校長:昨年との比較はしておりませんが、定期的にやっていたら見るとご協力、また金額的にもかなりのものになっています。今は、それをどう使うのかを考えてきています。

白井次長:その他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、協議に移ります。傍聴者の方をご案内いたしますので、しばらくお待ちください。

四 協議(進行 飯森教育長)

1. 小学校 1 年生保護者からの質問の回答について

教育長:それでは、小学校 1 年生の保護者の皆さんからのご質問につきましては、8 月 18 日の懇談会での出されたものでございます。回答につきましては、事前協議をする中であらかじめお配りさせていただいたものでございます。委員の方からご指摘いただいた部分につきましては、資料のとおり下線にて訂正させていただいております。今、お目通しいただきご自身の意見が載っているかご指摘をいただきたいと思ひます。

市川職務代理:基本的には、これをお願いできればと思ひます。感想ですが、こういった回答は、文書もいいと思ひますが、意見交換会等で直接話をした方が双方の意見を聞けるので、良いのではないかとと思ひます。2 点目ですが、保護者の方と話をする中でぜひ協力・協働してもらえるように家庭への呼びかけをしていただければと思ひます。家庭学習への協力やボランティア団体の活動における保護者の方のご協力も時間に余裕がありましたらお願いできればありがたいです。3 点目ですが、私も自分で地域の方に統合について話を聞いてみましたが、「統合については当面、慎重に進めてほしい」という意見が多かったです。多くの地域の方の意見を大事にしながら慎重に進めるということで、まとめていただいた文書でいいと思ひます。

教育長:その他にご意見いただけますか。

坂野委員:「協働」という話を聞きまして私が思ったことですが、保護者同士の横のつながりが減ってきているように感じています。もっと保護者同士の横のつながりを作っていければいいと思ひます。

塚原委員:村の合併と学校の統合は別ですし、教育の仕方というのも「子どもの教育」ということで保護者と話し合いができればいいと感じます。長野県全体で見ても山村へき地というところも多くありますので、教育委員会では「どういふ子どもに育てていくか」という視点で一致団結していければいいと思ひます。保護者同士でもつながりを大事にもらって、少人数なのでマイナス方向に育つということではなく、少人数だからこそ

良い方向に育つという考えでいてもらいたいと思います。児童数が多い学校が良いとは必ずしも良いとは言えないと思います。

教 育 長:その他にいかがでしょうか。

小山委員:少人数だからこそ先生が子ども一人ひとりの情報を把握しやすいという利点もありますので、少人数のマイナス面だけでなく、少ない環境の中で大人になっていくための基礎を作るという方向で皆で進めていけるといいと思います。

教 育 長:学校として、少人数の子どもたちにおける育て方についてご意見いただければお願いいたします。

福田校長:水泳等の個人のスポーツであれば少人数だからこそより手が入りますが、集団スポーツとなると大勢で作戦を立てるとのことや皆でゴールを目指す達成感を感じるといったことは厳しい部分があります。それを補うためには、周りの人と関わることを意図的に仕組んでいかなければいけないと思います。近くの学校との関わりというのは、お互いにしたいことだと思いますし、今ある部分としては異学年で縦割りの活動を大事にして行い、上の学年の子を見て憧れをもって見ていますし、先輩たちにしてもらったことを下の子にしてあげるといった思いやりを発揮できる良さが麻績小学校の子どもたちの良さとしてある部分だと思っています。地域で見守っていただいている活動では、信大の学生さんが褒めて下さったことで子どもたちにとってそれはすごく誇らしいことになり、自己肯定感を上げることになるといった機会は多くありますので、保護者の方々にも「こんないいところがある」というところが感じていただけていない部分を学校としても投げかけて共有していく努力をしていかなければいけないと感じています。麻績だけの良さを再認識して取り組んでいきたいと思っています。

市川職務代理:保護者の心配は子どもに伝染しますので、そういった意味でもご配慮いただけるとありがたいです。

教 育 長:その他によろしいでしょうか。それでは、今いただいた意見を踏まえ見直す中で理事者にも確認していただいて、保護者の皆さんに配布するようになっておりますので、よろしく願いいたします。それでは、そのような形でよろしいでしょうか。

全 員:(了承)

教 育 長:それでは、次に進みます。

2. 長野県校長教頭組合及び教職員組合からの要望書について

教 育 長:それでは、資料をご覧ください(以下、資料に沿って説明)。このことについて何かご意見あればいただきたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、その他に移ります。

3. その他

1)各委員から

臼井次長:その他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、協議に移ります。

四 協議(進行 飯森教育長)

1. 保護者有志よりの要望について

教育長:それでは保護者有志よりの要望についてということで説明をお願いいたします。

臼井次長:保護者有志の要望についてということで前回7月の臨時教育委員会の時にお渡しさせていただいた件です。そこでは岩永さんを代表とした児童生徒保護者有志一同ということで8月末を目途に2回以上の開催という意見交換の要望でありますけれど、日曜日または平日の午後7時以降または平日の午後4時までということで意見交換の内容は麻績単独での保小中のあり方、筑北両村での保小中の将来像についてということで頂きました。そこで皆さんの方から実際に開催するとなればもう少し具体的なものをということ、有志一同の部分についてはどの程度の有志の方々になるのかということを確認していただければご意見を伺ったところです。岩永さん本人に8月に文書で連絡をして確認をしました。これはどういう意味かということで結構な勢いで来たんですが、実際そういうような形で要望がありましたのでということで話をしましたら、基本的に岩永さんの方としては昨年の11月に行った意見交換会の再延長という理解をしているということでした。その時に集まりが非常に悪かったということもありますので何らかの開催の検討をということについての要望でした。ですのでその当時の有志と変わりはありませんというような言い方でした。ただ、今回の要望書に関してはその方々に確認をしたわけではなくてご本人で出されたという言い方でした。内容についてということでありますが、内容についても今まで行ってきた部分に変更は無いということでしたので昨年の11月28日に行った中で岩永さんが個人的に皆さんに配られたと思いますが、統合具体策の検討についての基本的な考え方みたいな形でより良い教育環境の整備だとか、筑北地域は一つの方向性だとか、活力ある村づくりの貢献とか、既存施設の活用とか、ハード面やソフト面の整備などというような部分で今まで申し上げていることに対して変わりはないということでありましたので、本日もう一回この中で協議事項としてお諮りしたということです。

教育長:この件につきまして教育委員の皆さんや学校長の方へ保護者からお話などはありましたか。

福田校長:学校の方は特に聞いていないです。

教育長:教育委員の皆さんのところはでしょうか。

塚原委員:特にないです。

小山委員:同じく聞いていないです。

教育長:基本的に懇談会等行ってもいいと思いますが、昨年度の開催時のような少人数の参加者では懇談会の効果や意見の反映は難しい。言い換えれば特定の意見だけでなく、広範囲な意見を聞く懇談が出来ればと事務局では考えております。いずれにしろ懇談会やって出てきた人が発言するにはやはり自分が名乗って誰がこういうことを物申しているということを言う訳でございますので、いけなければある程度の言ってくる項目につい

て保護者や小さな子供を抱えている方に出来れば記名のアンケートとかの方がいいのかなと思っています。記名にすると書いてくれないか、書いてくれない人は懇談会やっても出て来ないかなというような気がしますが皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。いずれにしろ出てくれば発言する時は誰が発言したかということが分かる訳なので、無記名アンケートだと無責任なことを書かれますと大変だと思いますので悩んでいるところです。懇談会を開いた方がいいのかどうかそこら辺のところのご意見を頂ければと思います。

小山委員:懇談会をやるのは構わないと思いますが、先ほど次長の話からあったように昨年の11月の続きということであればそれは懇談会ではなくて意見発表であり、もっと言えば糾弾集会に近いような形になってくるのであればそれはもう意味のないことでありますので、やるならやるで開催の趣旨を冒頭なりで周知徹底して発言の時間も1人1分や2分で切った中でやらないと懇談にならないと思います。人が集まるかどうかということも、日曜日が集まるのか平日の夜が集まるのかという話になって集まらなかった場合はどうするのかという感じになりますが、有志一同という形で要望書が出ていればその人たちのある程度の集約の中で日曜日が平日の夜かということは決めてもらっていいと思います。アンケートという教育長の話ですがもちろんアンケートは良いと思います。記名にするか無記名にするかは選択肢で良いと思います。差支えなかったら記名してください、名前を出したくなかったら空白でもいいですという形で、ただ高学年とか低学年の区別がつくぐらいの記名者の名称というかはあってもいいのではないかと思います。

教育長:その他にいかがでしょうか。

坂野委員:私も小山さんの意見と同じですが、一人一人の保護者の方の意見も地道に聞いているとちゃんと皆さん意見を持っています。だけど懇談会となると言えないし、その場の空気を読んでしまって本当は違う意見だけと言わなかったということはい多いです。ですのでアンケートは賛成ですが名前書くのに抵抗ある人はかなりいるので今言った形がいいと思います。中には結構過激なことをいうお母さんもいて、その反面良いよこれでというお母さんもいて一人一人の温度差が全然違うのでアンケートでその辺りも書いてもらった方がこちらには伝わるのかなと思います。

教育長:不満を抱えているお母さん方もいらっしゃると思うけれど何に対しての不満か分からないですよね。学校に対して不満があれば学校の方にある程度いっていると思います。

坂野委員:学校の方には無くて、先生たちには全然無いんです。村の体制というかやり方とかそういうことに対してで、結構私が言われるのは教育委員会何やっているのということはお母さん方でも言う人は言います。

教育長:そういうこともアンケートで分かれば書いていただければありがたいけれど、言い方が難しいですが意見を出してくれる方々は、正しい意見として発言してくるのが普通であり、修正が難しく、どのように多様な意見を読み解き、反映させていくのが難しいと考えております。保育園の方は保護者から何か聞くことはあります。

白井園長:特に無いです。岩永さんいる時には岩永さんからという話はありませんけれども卒園してしまっただけで無いですね。

教育長:一応今考える中では保育園や学校の中ではある程度満足していただいているというこ

とでしょうか。反対にその人の話を聞くと今満足している人が反発する可能性がある
ので難しいところですが。市川委員どうでしょうか。

市川職務代理: 難しいですね。アンケートに対しては慎重であって欲しいということしか今は言えないで
す。基本的にはゆるやかな記名なりということには賛成です。アンケートというのは言
いたいことを書いたということで一応ガス抜きにはなると思います。ただ、逆にアンケートに
書いたにも関わらずとか自分のモヤモヤとしていたことを書くことによって余計に強化さ
れるというか、何かおもしろくないなと思って感じが文章化することによって教育委員
会は悪いんだ、麻績村の教育行政は良くないんだという風に自分の意識が強化されてい
くという側面を持っていますので、かなり慎重に扱っていただかないと余計混乱を大きくし
ていくかなという側面が無きにしもあらずと思います。保護者の中には非常にしっかりし
た方がいてしっかりしたご意見を持つ方がいて、そういうのはつぶやきでも何でも本当に
聞きたいです。中には本当に無責任で自分の子どもが学校にいる間はかなり教育につ
いて評論家的なことを言うけれど卒業してしまえばもう関係ないという方が過去の経験で
も多いものですから、その辺りの感情も加味していただいて慎重にご検討いただきたい
と思います。

教 育 長: ありがとうございます。塚原先生どうでしょうか。

塚原委員: 例えば自分が今の岩永さんだとしたらこういう風に思うと思います。教育長のところに行
っても話が通じない、教育委員の一人一人のところに行ってチラシ配ったり理解を求め
ようとして話をしに行っても話を聞いてくれない、教育委員会は俺たちの意見を聞いてく
れないのではないかと、麻績村と筑北村が合併しないことと学校が統合しないことは分か
る、だから俺の子どもは中学卒業するまで5人でいくというモヤモヤを誰が聞いてくれる
んだ、教育委員会も聞いてくれない、教育委員も聞いてくれない、学校も聞いてくれな
い、じゃあ俺はどうしたらいいんだというモヤモヤでこれから議員さんにも働きかけて何と
かしても村を変えなきゃ俺の子どもは幸せになれないという感じではないかなと思ってい
ます。村としても教育委員会としても教育の方針やら合併やら統合の方針を村人に出し
ているけれど、本当に分かってくれていない村民がどうしてもいるのでこういう人にどうや
って理解して分かってもらえるようにしていかななくてはいけないかなということ感じていま
す。今は次長さんが一所懸命防波堤になって岩永さんのところと話をして吸収してもらっ
ているので良いけれど、そういう努力を我々教育委員会もしていかなないとこういう人た
ちに対する対応の仕方というか、我々はこうやって一つになっているので固すぎちゃってこ
ういう人たちが理解してもらえなくてモヤモヤしているという状況が現在の麻績村の状況
かなというのが僕なりの判断です。村長の選挙や議員選挙があるともう少し明確になるか
なと思っています。もう一つは来年から麻績村で小学校と中学校の面倒を見ていく、こ
ういう風になっていくということを村民にもう少し働きかけていく、言葉では分かるけれど実
際どうなのかということが子どもを預けていない人にとっては全然わからないというか、子
どもを預けている親は学校からお便りをもらったりしているので分かるけれど他の人た
ちが分かってくれていないのかなという不安を感じています。

市川職務代理: 今の話にまったく賛成ですしその分析の通りだと思いますが、私どもは岩永さんが色々
言うからどうこうということではなくて、教育を担うものの良心として男が一人だけしかも五

人しかいないクラスというのは異常だと風に捉えているのは皆共通していると思います。低学年のうちには男女そんなに堪えないけれど、段々高学年になっていくに従って性差というものができて男の子は男の子としてということが出てくると非常に親以上に校長先生は心配してくださっているだろうし、私どもも気にかけているところであります。決してそれを放っておいている訳でも無いですし、相手にしない訳でもありません。各自五人をどうするかということを真剣に考えることは真剣に考えていただければと思っています。今学校では縦割りや友達学級なり、あるいは2、3年連合学年なり色んな手を使って5人だけではない教育活動をしてきている訳ですからまずは私どもは強調することと、五人しかいないからこそ個別教育が徹底しているということを見せていただいて誰もが感じるとと思います。先生が素晴らしいものだから糊のつけ方がどう違うかということまで見抜いて指導していますから、そこまで個別教育をできるこんなありがたいことは無いという良さを強調すると同時に、現在出ている範囲で精一杯やっているがもしその他に要望があったら言ってくださいという立ち位置で私どもは関係者とそういう話が出たときにはしていく必要があるのではないのでしょうか。先日、校長会長との懇談に教育長に許可を頂いて参加させていただいたときに、前回もそうですしそういう機会があればいつでも言っていますが教育人事の中で教科が優先であり部活の担当が優先であるけれど、現在小学校2年生のお子さんを持った親がいたらぜひ麻績へ連れてきて貰えないかという願いを心から冗談なくお願いをしています。例えば郵便局の人と話すときや農協の人と話すときに、人事の中で小学校2年生になる子どもを持った親御さんがこちらにお勤めになることは無いのということで私はこの問題を私は個人的に広めているつもりです。今の小学校でこんなにやっているんだ、こんなに良いんだ、岩永さんまだ何かいい考えがあったら具体的に提案してよ、ということが一つです。もう一つは私の世界が狭いからいけないけれど、広い世界を持っている人は2年生の子どもをとにかく麻績に連れて来ることが一つの直接的な解決方法ですからそれも真剣に考えてもらうことが大事かなと思います。あとは小中一貫教育部会の中でも機器を使って他所の学校と連携という話も当然出てきていますし、もう少し広い範囲での対策もどんどん謳われている訳ですからそんなに岩永さんに戦々恐々とする必要は無いと思います。私は一親としての悲しみは充分分かっているつもりですし、彼以上に私の方が悩んでいるくらいです。

臼井次長: 提言書の中でもデメリットを出来るだけ少なくするというのを提言されている訳ですけども、それがこちらの方に伝わりにくいということを言われていました。

市川職務代理: 彼らは色眼鏡で見ちゃうのでいけないですね。もっと素直に見てもらって、小中一貫教育ってなんだとか言葉では分かるがとか本当に真剣に見ている人たちはよく分かってくれています先生方があれだけ仲良くやってくれるようになってと言うその事実だけがとても大きいことも私は学校の先生方のご助力保育園のご助力そういったものを見ずして言葉の上で色々言うことはできますが、もっと真剣に具体的に則していつてもらいたいなという思いがあります。

教 育 長: これから検討していかなくてはいけないんですが、その方については多分他にあるかという統合のことしか考えていませんので余計な事の理解が厳しいなと思います。もう少し検討させていただく中で人数少なくとも出来るだけ多く集まれるようなことを考えてやっ

ていければと思いますのでよろしくお願いいたします。その他に不満を持っている人もいますので出来るだけやっていきたいなと思います。近い時期とは言えど、運動会で忙しいですし色々なことがあります。これは保護者やその人には関係の無いところでもありますから、そこが調整の難しいところでもあります。やっていきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。検討していると11月の50周年記念が終わったところでないと厳しいかなと思いますが、そこら辺も踏まえて早くやれば早くやっていった方がいいなと考えていますのでよろしくお願いいたします。

市川職務代理: 懇談会をやるという前提になった場合は、全面的にやりましょう、積極的にやりましょうということでPTA会長さんとか坂野さんとかそういう方々のお力を借りて積極的に今の学校教育で良いんだ、具体的にこういう点はいいいねとそういう立場で意見を言える人たちにたくさん出てもらえるように働きかけていくということも手だと思います。

教 育 長: 一番は教育委員会に対してがありそうなものですから、多分学校や保育園にはほとんど不満が無いということで1年生の時5人のことも話した時は学校はよくやってくれていてありがたいという部分でやっていて、あとはその時の対応がどうも引っかかっているのではないかと思っています。あとは学校教育に関係の無い人たちがどうするかということを基本的に入れていかないとダメなのかなという気もします。幅広い部分で開くのか、教育委員会に対する部分の懇談会を開くのか、保育園学校教育に関する部分でやっていくのかということも検討しなくてはいけないなとお話を聞く中で感じていますのでそこら辺も踏まえて検討していきたいと思えます。ひだまりのお母さん方もいますしそこら辺も考えながらやっていかないとダメなのかなと考えていますのでよろしくお願いいたします。ひだまりも時間を取るということはありませんが、指導とか見ている者の方から何かあるということはお聞きしているんですが、皆今やっていることでありがたいということで結局上を望めばキリがないということなものですからそこら辺も踏まえながら学校教育もそうですが上を見ればキリがないという部分がありますのでよろしくお願いいたします。また皆さんにも出来るだけ早くご相談しながらやっていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。それでは次に移ります。懇談会は積極的に行っていくとするが、懇談の内容等を確認しながら又、未就園児保護者、保育園保護者、小学校保護者、中学校保護者等に分けることも必要かと思えますので再度検討していきたいと思えますので次回までに確認したいと思えます。小学校の50周年行事等があるので開催は11月以降になりますのでよろしくお願いいたします。

3. その他

1) 各委員から

市川職務代理: 麻績村の歴史を学ぶ会ではありますが私も関わっているものですから、その活動ですが保育園の運動会の日とちょうど重なってしまったのでその日の午後、今日は高部落へ行きたいと思えます。大仏様があったり色々な歴史的なものもったり民族的なものもあったりと非常に参考になります。特に小学校の子ども達や保護者の方へもピラを回します。

呼びかけていただければ地域を知るという意味でも良いものですからよろしく願いいたします。来年までかけて2年間で村内全部回ってしまうという予定です。

教 育 長:その他にいかがでしょうか。

塚原委員:感想ですが、小学校や保育園でも教えていくのが難しい時代になってきたというのが、プライバシーという言葉が先走っていて写真を撮らないでとか、携帯の番号を教えるとか色々なことがあって、子ども達に親しいということと知らせるといことと知らせないといこととのバランスが上手な人が生きていける時代なのかなと思って僕自身も感じるのが難しい時代に子どもたちは生きていかななくてはいけないなと思いました。

教 育 長:その他にございますか。

坂野委員:この前のカレー会の時にひだまりのお母さん達何人かとお話したら毎日開いているのありがたいという感想でした。何年か前私たちの時は行くところが無くて籠ったり、近所で遊ぶくらいだったんですが本当に今のお母さんたちが喜んでひだまり行ったり保育園の行事も良くやってくれるのでという感想を言っていましたのでお伝えします。

市川職務代理:そういう感想は私も聞いています。

教 育 長:結構今はお産帰りで戻ってくる方も利用してくれたり、夏休み中もあってこっちへ夏休みで来たけど子どもの行くところが無いからといって来ている方もいました。どこでもそうですが、ひだまり子育て支援施設は村内外問わず皆受け入れはしていると思いますのでしっかりやっていきたいなと思います。一時大岡からも来ていましたし、そういう利用もしていただいで出来るだけ交流していただければありがたいと思います。それでは事務局から移ります。

2) 事務局から

- ・成人式におけるアンケート結果について
- ・東筑摩郡町村(組合)教育委員会研修大会(9月27日山形村)
- ・長野県市町村教育委員会研修総会(10月11日飯田市)

臼井次長:お願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

市川職務代理:例年アンケートを取っていて変化の兆しというか、麻績村が好きだという回答が増えているなどということはあるでしょうか。

臼井次長:今お話のありました好きという部分では細かく対比したことが無いですが今年については好きと直接的に表現される方が多いような感じがします。あとは村長だったらというところで具体的なものを言われる方が非常に多くなってきたかなと思います。

市川職務代理:そうですね。図書館など麻績で力を入れていることが子ども達にも印象に残っているように感じます。ありがとうございました。

教 育 長:ありがとうございます。それでは次についてお願いします。

臼井次長:お願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

小山委員:申し訳ありません、欠席でお願いいたします。

臼井次長:他の委員さんにつきましては今のところ出席とさせていただきますが、最終的な所を今

週中ぐらいまでに連絡をいただければと思います。続きまして県の研修会についてです
(以下、資料に沿って説明)。

市川職務代理: 筑北村の分散会に全員で出る必要はありますか。

教 育 長: 無いです。教育委員の聞きたい分散会を選んでいただければと思います。

市川職務代理: どこかに固まってもいいですか。全員で分散することを考えていますか。

臼井次長: 事務局の方で必要に応じて分散しますので、第一希望と第二希望ということで頂ければ
と思います。両方含めまして今週中にご連絡を頂ければと思います。

教 育 長: よろしく願いいたします。それでは、次回の日程に進みます。

定例教育委員会の日程 10月1日(月) 午後1時30分～

教 育 長: 全体を通して何かございますでしょうか。それでは私の方から一点お願いいたします。50周年記念の冊子作りが少しずつ進んでいます。原稿の部分をこれから入れていくようになりますが9月13日頃に初校が上がってきますのでそこら辺でおおよその冊子の概要が掴めますので、そこで一度開きたいと思いますが夜7時頃からはなるかと思いますが17日18日になる可能性があるということだけお願いしたいと思います。一応18日19時からを予定としていますので何かありましたら連絡をお願いいたします。

五 閉会(飯森教育長)

長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。また今後ともよろしくお願いいたします。以上で9月の定例麻績村教育委員会を閉会いたします。

※網掛けになっている部分は個人情報になりますので一般公開する時には伏せて公開いたします。

上記会議録に署名する

教育長

職務代理

委員

委員

委員

会議録調整者